

環境管理局大気環境課

## 1. 事業の概要

(1) 広域的な花粉観測予測体制を構築するために、関東、関西、中部地域に引き続き、新たに中国・四国地域を対象として観測体制を整備する。

(これまで合計60台を設置し、環境省直轄事業として実施)

具体的には、中国・四国地域の山間部における花粉発生状況と都市部における花粉飛散状況を常時把握するために、花粉自動計測器(合計20台)を設置する。

(2) 花粉症患者に対して適切な情報を提供するために、都市部の花粉の飛散データと山間部の花粉の飛散データをリアルタイムで収集し、気象データと合わせた花粉飛散予測のシステムを開発してきたが、その本格運用を開始する。

## 2. 事業計画

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度以降
都市部における花粉自動計測器の設置	(関東地域)	(関西地域)	(中部地域)	(中国・四国地域)	(九州地域)	(東北・北海道地域)	→
山間部における花粉自動計測器の設置	(関東地域)	(関西地域)	(中部地域)	(中国・四国地域)	(九州地域)	(東北・北海道地域)	→
花粉予測システムの構築		→					
試験運用			→				
本格運用							→

## 3. 施策の効果

花粉自動測定器を広域的に配備し花粉飛散データを収集することにより、大気汚染物質と花粉及び花粉症との関連性を探るためのデータを蓄積する。

また、これらのデータを基に花粉予測体制の構築を図り、ホームページ等で情報提供することにより、国民の健康保持に資する。

# 花粉観測・予測システム概念図

